

09年11月26日市警ニュース

JSSによる情報提供

サンシャイン作戦, 60人が122の

嫌疑で逮捕

10月13日火曜日より14分署の重要犯罪風俗課は、市警の麻薬班の協力を得て5週間にわたる、街頭の非合法麻薬密売取締りを実施した。この作戦は、以下に示す数箇所の住民による麻薬売人に関する懸念に対応して進められた。

- ◆ ブロアー西通り・ランスダウン通り
- ◆ ブロアー西通り・オシントン通り
- ◆ カレッジ通り・スパダイナ通り
- ◆ ダンダス西通り・スパダイナ通り
- ◆ キング西通り・ストラカン通り
- ◆ キング西通り・ダッフアリン通り
- ◆ クイーン西通り・ランスダウン通り
- ◆ クイーン西通り・バザースト通り

状況は、

- 私服係官に30件の麻薬購入購入機会があった。
- 警察は、薬物使用法に基づく3件の家宅捜査を実施した。60人が120の嫌疑で逮捕された。

さらに、

- 逮捕された者たちの違反総数は913であった。
- 逮捕者が犯行を犯した時点で、14件の保釈が与えられていた。
- 逮捕者のうち13人は条件付保護観察を受けていた。
- 逮捕されたものは平均21の違反判決を受けていた。

JSS 説明

日本では有名人の麻薬使用などがニュースになっているが、当地の麻薬に関する状況は日本のそれとは大きな差がありそうだ。統計が手元に無いので正確なことはいえないが、記事中にある数字、ないしはこれまでに見聞された状況から推測できることは、きわめて多くの人々が不法な麻薬などを使用しており、又密売も盛んに行われているようだ。

一方、記事にあるように、そういった傾向に危惧を持つ地域住民が警察による取り締まりのきっかけになっている点では、状況が放置されて居らず喜ばしい。

筆者が気になる点の一つは、当地に短期、中期に滞在する人々が後先の熟考無しについ手を出し、結果がおおごとになってしまうことである。事態を興味本位に捉えないよう、切に願うものである。